



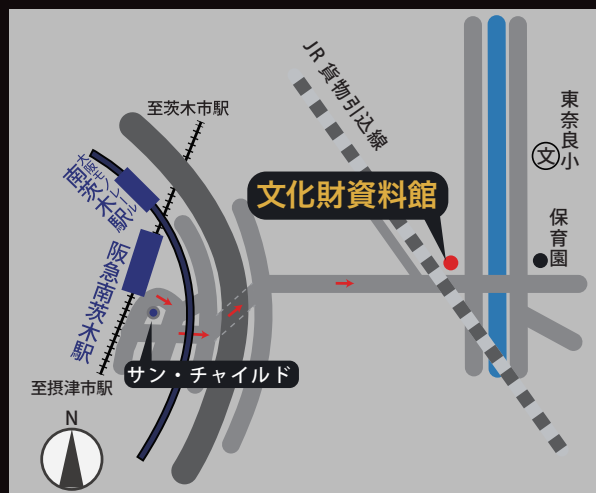
# 茨木市立文化財資料館

Ibaraki Municipal  
Cultural Properties Depository

## ●利用案内

開館時間 午前9時～午後5時  
休館日 毎週火曜日（その日が祝日の場合を除く）  
祝日の翌日（その日が日曜日の場合を除く）  
12月29日～翌年1月3日  
入館料 無料

## ●案内図



### 【交通案内】

- 阪急・大阪モノレール「南茨木駅」から東へ約300m
- 京阪バス「大阪モノレール南茨木駅高架下」下車 東へ約450m

## 茨木市立文化財資料館とは

茨木市立文化財資料館は、市民が気軽に訪れ、まちの歴史や文化に親しみ、郷土愛を育くむ場として、昭和59年（1984年）3月30日にオープンしました。

1階展示室には、先人たちが残した貴重な文化財である銅鐸の鋳型、土器、古文書、民俗資料など700点ほどを展示しており、茨木の歴史を時代に沿ってご覧いただけます。

2階展示室では「戦国時代の茨木」をテーマに、茨木城にまつわる武将の話や、ゆかりの品々、茨木遺跡の出土品などを展示しています。

## 当館のめざす役割

茨木市立文化財資料館は市域にのこる文化財の保護、調査・研究、普及啓発活動をおこなっています。これらの活動を通じて、茨木市の文化財の価値を明らかにし、守り伝えていくことをめざしています。

## 茨木市立文化財資料館

〒567-0861 茨木市東奈良三丁目12-18  
TEL.072-634-3433 FAX.072-637-4745  
URL <https://www.city.ibaraki.osaka.jp>



このパンフレットは10,000部作成し、1部あたりの単価は9.41円です。

茨木市教育委員会

# 1階展示室（茨木の歴史と文化財）

## 旧石器時代

旧石器時代後期のナイフ形石器が市域の北部や太田遺跡、郡遺跡で見つかっています。これらの石器から、人々が狩猟・採集をしながら生活していたことがわかります。



太田遺跡 石器

## 縄文時代

茨木では縄文時代のはっきりとした集落遺跡は少ないですが、耳原遺跡からは狩猟に用いる石の鎌や、小児の土器棺が見つかっています。近くに住居もあったでしょう。



耳原遺跡 土器棺

## 弥生時代

この時代から、日本でも金属器を生産し、使用するようになります。東奈良遺跡では青銅器やガラス製品を生産する道具が大量に見つかっています。とりわけ、ほぼ完全な形を保った銅鐸鑄型は全国で唯一のものです。



[国重文] 東奈良遺跡鎔范関係遺物

また、米を作るようになり、茨木でも目垣遺跡、郡遺跡、宿久庄遺跡など集落遺跡が増加し、稲作に用いる道具や籾殻がついた土器が見つかっています。



東奈良遺跡 弥生土器

## 古墳時代

土を盛った大きな墓（古墳）が列島各地に造られ、茨木でも数多くの古墳が造られました。なかには、三角縁神獣鏡が数多く出土した紫金山古墳、三島地域最大の前方後円墳である太田茶臼山古墳などがあります。



あ い 安威0号墳 玉類

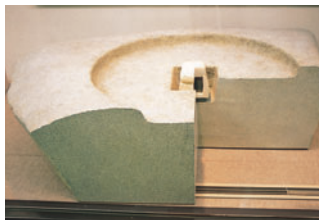


太田茶臼山古墳

## 古代～中世

氏族寺院の造営が盛んになり、穂積廃寺、太田廃寺、三宅廃寺などが古代寺院として知られています。神社では、式内社10社13座が今も残っています。

また、茨木の山間部では鎌倉時代末から室町時代にかけての中世墳墓が多くあり、クルス山中世墳墓は数百基の墓と数基の火葬墓からなります。



太田廃寺 礎石および舍利容器



クルス山中世墳墓

## 近世(江戸時代)以降

江戸時代の面影を伝える郡山宿本陣は、いまでも西国街道沿いに残っています。また、山間部の千提寺・下音羽ではキリシタン遺物が見つかっています。



[国史跡] 郡山宿本陣

## 民俗資料

山、川、田・畑と環境に応じて、使用する道具も異なります。寒天生産に用いた道具、茨木通しなど茨木に特徴的な民具を中心に紹介しています。



かえこし 替越・小槽・マグワ



筒と糸寒天

# 2階展示室（戦国時代の茨木）

元和元年（1615年）の一国一城令により廃城となるまで、茨木城がありました。

中川清秀や片桐且元など歴代茨木城主とともに、発掘調査により明らかになりつつある、中世から近世にかけての茨木城周辺の様子を紹介しています。調査では、城や寺院に使用される格式高い建具なども見つかっています。

※現在改装中のため、令和四年（二〇二二）三月末まで閉室しております。



2階展示室の様子